



Didier Dagueneau,
Blanc fume de Pouilly 2008
ディディエ・ダグノー、ブラン・フュメ・ド・ピュイイ

所有者 Benjamin と Charlott (ディディエ・ダグノーの息子)
オペレーション ブラン・フュメ・ド・ピュイイ

ブラン・フュメ・ド・ピュイイの畑は、フランス、ロワール地方のセントラル地区、ピュイイ・フュメ村にあるサンタンドラン(Saint-Andelain)に位置しています。(ロワール地方は大きく4つの地区に分けられますが、セントラル地区は一番東側に位置しています)
ピュイイ・フュメ村では、白ワインのみが原産地呼称制度で認められており、同じくセントラル地区にあるサンセール村と共に素晴らしいワインをソーヴィニヨン・ブラン種から生産している地域です。

もともとの所有者であったディディエ・ダグノーは、2008年飛行機事故により突然この世を去ってしまいました。そのニュースは世界中を駆け巡り、どれだけ彼が著名な生産者であったか実感された出来事でした。
彼は前妻の間に2人、またそのあとのパートナーとの間に2人、計4人の子供に恵まれました。現在はその前妻との間にできた子供、Benjamin と Charlotte がこのドメーンを継ぎ、今日でも上質ワインを造り出しています。

ディディエ・ダグノーは、ボルドー大学の白ワインの醸造技術で有名なドウニ・デュブルデュ教授やブルゴーニュの神様と称されるアンリ・ジャイエなどにワイン造りを学びました。
彼が生前目指していたものは、“世界で最も素晴らしいソーヴィニヨン・ブラン”を造ることでした。
また有機農法を取り入れた有名生産者のひとりでもあり、ピュイイ・フュメにおける最良の生産者となりました。

また独自の畑から区画の違いにより いくつものキュヴェ(ワイン)を生産しました。
例えば、トップキュヴェであるシレックス(Silex)、ピュルサン(Pur Sang)、ビュイソン・ルナール(Buisson Renard)、そしてこのブラン・フュメ・ド・ピュイイ (Blanc Fume de Pouilly)・・・などです。

ブラン・フュメ・ド・ピュイイは、もともとアンシャイユというキュヴェとして生産されていた区画のものと それに新しい区画のキュヴェを加え、現在ではブラン・フュメ・ド・ピュイイとして販売しています。
ラベルには、印象的な音譜が描かれています。ダグノーの友人である作曲家によってシャンソン歌手、ジョルジュ・ブラサンヌのために作った“Mauvaise Reputaion” (悪い噂)と名付けられた曲です。
豊富なミネラル感にレモンのようなすっきりとした酸味があり、果実味豊かなキレのある辛口タイプでありながら、ふくよかなニュアンスも感じとることのできるバランスのとれたワインです。

2008年9月に亡くなってしまったため醸造まで世話することはできなかったものの、生前、ダグノーが最後に自分の畑で見守ったブドウから造られたヴィンテージです。

参考情報

土壌 シレックス(火打ち石)、石灰質、粘土質
栽培面積 11.5ha
栽培比率 100% ソーヴィニヨン・ブラン
栽培密度 11,000本/ha
収穫 手摘み 選別
醱酵 樽にて(マロラクティック醱酵なし)
樽熟成(樽とステンレスタンクにて)